

全国自治体ストックデータベース

“分布図表示”の操作方法

分布図表示のページ → <http://opossum.chiba-u.jp/stock.html>

分布図表示

分布図（散布図）の形式でデータを可視化しました。分布図とは、それぞれの地域の指標値がどのように異なるかを一目で把握できる図です。複数の指標値の関係を調べることもできます。

リンクのwebページにアクセスしてご使用ください。

<http://opossum.chiba-u.jp/stock.html>

表示画面はインタラクティブになっており、見ている人が指標の種類や注目する地域を自由に選択することによって、表示内容が変化します。具体的な操作方法は次のページのとおりです。文章で読んでもわかりにくい部分は、画面上のボタンを触りながら直感的に操作を理解していくのが良いでしょう。

（参考）

可視化にあたっては、Google社の提供する「スプレッドシート」というwebサービスの「モーショングラフ」というガジェットを利用しています。

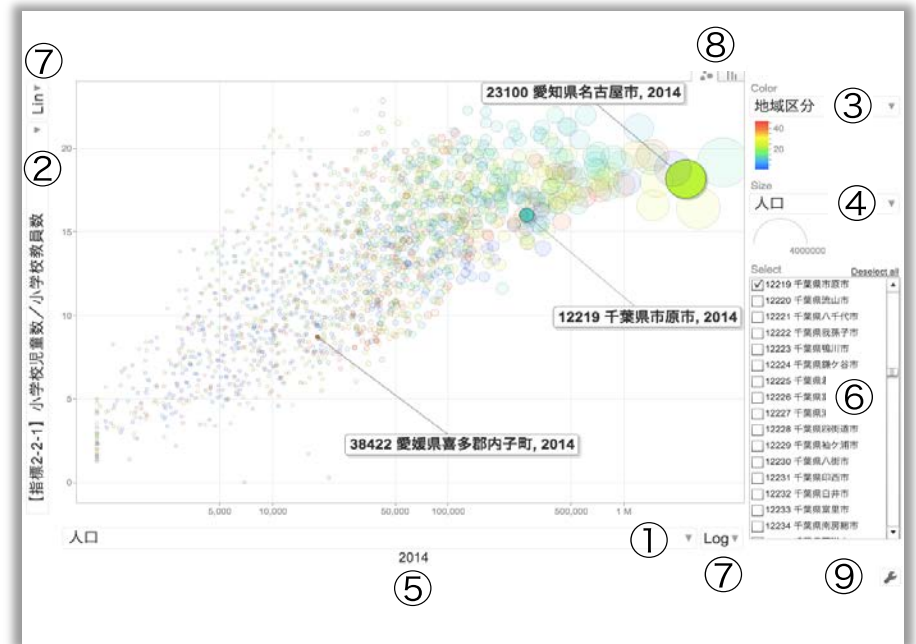
モーショングラフ - ドキュメント エディタ ヘルプ

<https://support.google.com/docs/answer/1047434?hl=ja>

操作方法

- ① x軸（＝ヨコ軸）で表すデータを選択する
- ② y軸（＝タテ軸）で表すデータを選択する
- ③ カラー（＝バブルの色）で表すデータを選択する
- ④ サイズ（＝バブルの大きさ）で表すデータを選択する
- ⑤ タイム（＝時点）を選択する※
- ⑥ 注目したい地域（複数可）を選択する
- ⑦ 軸目盛りのlin/log（＝線形表示／対数表示）を切替える（x軸とy軸にそれぞれある）
- ⑧ グラフ種類を「バブルチャート」から「棒グラフ」「時系列折れ線グラフ※」に切替える
- ⑨ 選択していない地域のバブルの透過度を変更する

※印：複数時点のデータが入力されていないときには表示されません。



ワンポイント

もし、多くのデータが重なって見づらいときには、x軸とy軸にある⑦のボタンを使って、軸目盛りを「lin（リニア、線形）」から「log（ログ、対数）」に変更するとよいでしょう。散布図上における各地域データの相対的な位置関係（上下左右）は、linからlogに切り替えても変化しません。